

平成19年 2月定例会号

	ページ
●平成19年度当初予算の概要	2
●予算特別委員会委員長報告	3
●市政に対する一般質問	4~7
●請願・審議結果	8

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel(364)1214 APR.2007 (平成19年4月)
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>

塩竈神社境内



塩竈市観光物産協会提供

定例会のあらまし

平成十九年第一回市議会定例会は、二月二十二日から三月九日までの十六日間の会期で開催されました。初日の本会議では、まず、平成十八年度議案十九件が即日審議の上、原案のとおり可決しました。続いて市長より平成十九年度議案三十二件の説明を受け、総括質疑後、設置された平成十九年度予算特別委員会に付託しました。

休会中、予算特別委員会を三日間開催し、付託議案の審査を行いました。また、総務教育常任委員会及び民生常任委員会を開催し、請願の審査を行いました。

本会議二日目には、各委員長から審査結果の報告を受け、平成十九年度議案三十二件を原案のとおり可決しました。また、請願二件を閉会中の継続審査としました。さらに、議員提出議案四件並びに追加議案一件をそれぞれ即日審議の上、原案のとおり可決しました。本会議三日目から最終日までの三日間にわたり九名の議員が市政に対する一般質問を行い、市政全般にわたり市当局の見解をただし閉会しました。

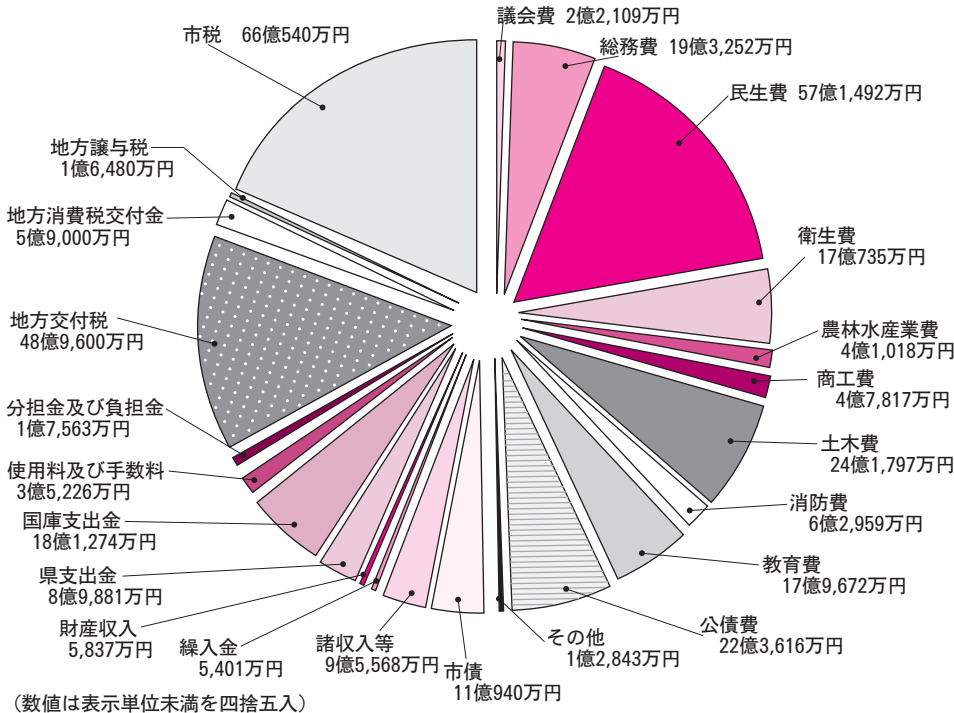
定例会会議日程

2月22日 (本会議)	会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、平成18年度議案審議及び採決、平成19年度議案の付託 総務教育常任委員会
2月26日 (委員会)	民生常任委員会
2月27日 (委員会)	民生常任委員会
2月28日 (委員会)	平成19年度予算特別委員会
3月1日 (委員会)	平成19年度予算特別委員会
3月2日 (委員会)	平成19年度予算特別委員会
3月6日 (本会議)	予算特別委員会委員長報告、各常任委員会委員長報告、議案の審議及び採決、請願の審議及び採決、議員提出議案審議及び採決、追加議案審議及び採決 市政に対する一般質問
3月7日 (本会議)	市政に対する一般質問
3月8日 (本会議)	市政に対する一般質問
3月9日 (本会議)	市政に対する一般質問

一般会計

歳入 (176億7,310万円)

歳出 (176億7,310万円)



(数値は表示単位未満を四捨五入)

平成十九年度当初予算(一般・特別・企業会計) 四百五十五億五千二百六十三万円可決

平成十九年度当初予算は、一般会計が一七六億七、三一〇万円
で昨年度と比較すると二・二%の増、特別会計が二二五億三九五
万円、昨年度との比較では七・七%の増、企業会計が五三億七、
五五八万円、昨年度との比較では二・一%の減となっております。

当初予算提案理由

定例会初日、佐藤市長より当初予算編成に当たったの考え方が次のように示されました。

本市においては歳入の根幹をなす市税収入が回復しておらず、地方交付税の削減に加え、扶助費や保険・医療にかかわる会計への繰出金が増加する厳しい財政運営が続いている。

本予算は四月に統一地方選挙が予定されていることから、経常的な経費や継続事業、市民生活に直接的な影響を及ぼす事業を計上した骨格予算としている。予算編成に当たっては、新行財政改革推進計画に基づき、歳入の確保と歳出の削減を基本に据え、限られた行財政資源を緊急性や優先度の高い施策への効率的、重点的な配分に努めている。

一般会計当初予算の目的別歳出 (単位:万円)

費目	予算額	対前年伸び率(%)
議会費	2億2,109	▲ 5.0
総務費	19億3,252	▲ 1.4
民生費	57億1,492	4.5
衛生費	17億735	9.1
労働費	4,501	0.0
農林水産業費	4億1,018	22.0
商工費	4億7,817	14.2
土木費	24億1,797	▲ 8.0
消防費	6億2,959	▲ 7.6
教育費	17億9,672	7.6
公債費	22億3,616	1.3
諸支出金	6,842	1.9
予備費	1,500	0.0

一般会計当初予算の主な事業 (単位:万円)

交通安全対策事業	2,122
宮城県後期高齢者医療広域連合事業	1,234
鉄道駅舎エレベーター整備事業	2,500
地域生活支援事業費	2,590
乳幼児医療助成事業	6,041
心身障害者(児)医療助成事業	12,530
廃棄物減量化推進事業	15,378
休日救急運営事業	5,355
中小企業対策融資事業	32,500
私立幼稚園就園奨励事業	5,160
小学校大規模改造事業	21,835

政策的経費では、にぎわいと活力のあるまちづくりを目指す事業の選択と集中を図ることとし、経常的経費では、各部が主体的に経費の節減に努める一般財源枠配分方式を継続している。また定員適正化計画に基づき事務事業の見直しを図り、職員数の縮減に努めるとともに、昨年度から実施した職員給与の独自削減も継続している。一方、職員定数の適正化など人件費の削減に総合的に取り組む自治体が許可される退職手当債を計上す

このように収支改善努力により、基金からの繰入金も前年度から二億六、九三六万五千円減少しており、一般会計は収支均衡に近づいたと感じている。しかし、地方公共団体の再生法制の動きの中で、全会計を連結した財政指標の改善が求められることから、今後さらなる財政の健全化に取り組んでいく。

(単位:万円)

特別会計予算 225億 395

- 交通事業特別会計 1億9,270
- 国民健康保険事業特別会計 69億 130
- 魚市場事業特別会計 1億3,430
- 下水道事業特別会計 45億 330
- 公共駐車場事業特別会計 1,200
- 老人保健医療事業特別会計 61億8,200

- 漁業集落排水事業特別会計 1億6,940
- 公共用地先行取得事業特別会計 12
- 介護保険事業特別会計 36億4,513
- 土地区画整理事業特別会計 7億6,370

企業会計予算 53億7,558

- 病院事業会計 29億 807
- 水道事業会計 24億6,751

予算特別委員会 委員長報告

予算特別委員会においては、伊藤栄一委員長、田中徳寿副委員長を選出後、三日間にわたる慎重審査を踏まえ、三十二議案を可決すべきものと決しました。委員会では出された主な要望・意見は次のとおりです。

● 一般会計

▼今後とも厳しい行財政運営を迫られている中、業務の効率化に向けて情報の速やかな活用が図られるよう情報の一元化に努められ、行政を取り巻く様々なリスクの集中管理に取り組まれない。また、社会情勢の変化や国の制度改正に的確に対応しながら、事務事業のなお一層の効率化に取り組み、さらなる市民福祉の向上に努められたい。



予算特別委員長報告

場となっている集会所については、高齢者や身体障害者の利用も増えていることから、洋式トイレの設置についても検討を行われるなど、市民の利便が図られるよう施設のバリアフリー化にも積極的に取り組まれない。

▼「藻塩の里」は、それまでの施設が使用不能となったことにより、今般、暫定的に移転したものである。同施設は、通所作業所としてのさらなる環境整備が求められていることから、施設の環境改善に際しての補助制度の活用や、恒久対応策についても検討を加えられ今後とも利用者安心して利用できるものとなるよう鋭意取り組まれない。

▼心身障害児通園事業「ひまわり園」の運営にあたっては、心身等に様々な障害を有する児童が、学校や社会生活において円滑に適應できるように、今後とも児童に適切なきめ細かな対応を行われるなど、療育指導のより一層の推進に努められたい。

▼本市においては、高齢化社会の進行や雇用情勢の低迷などにより、生活保護率は年々増加している。被保護者の自立助長には、就労支援対策が不可欠であることから、今後も関係機関との連携を図られながら引き続き生活保護受給者に対する就労指導の充実強化に取り組まれたい。

▼塩釜地区休日急患診療センター運営事業については、土曜日準夜帯における小児科診療が実施されるものであり、夜間等の急病に対する不安が一部解消されるものである。今後においても、地域住民が安心して医療を受けられる診療体制の充実に向け、検討を深められたい。

▼本市の活性化には雇用の確保が欠かせないことから、基幹産業である水産業を初めとした地場産業の振興や新たな企業の誘致等の施策について、今後とも積極的に取り組まれたい。

▼市が設置している公園・緑地等については、都市に潤いを与え、市民の安らげる空間として適切な維持管理が求められている。今後においては、美観等にも配慮した整備に努めながら、市民の憩いの場として十分に利活用できるように、公園等の環境保全・整備に努力されたい。

▼本市の市営住宅については、入居希望者が多数に上り、待機世帯の解消が進んでいる。施設も存在するため、公営住宅ストック総合活用計画等の既存計画を基本としながら、時代の要請に適應した住宅整備手法等についても検討を加えられ、今後とも公営住宅の整備促進並びに良好な住環境の形成に取り組まれたい。

い。

▼本市の小・中学校の校舎や体育館については、老朽化が顕著で、修繕を必要とする箇所が多々あることから、児童・生徒の学校生活に支障を来さぬよう、計画的な施設の修繕等、良好な教育環境の整備に努められたい。

● 特別会計

▼交通事業特別会計については、同会計の健全化計画を踏まえながら、船舶の運航体制等について、今後とも検討を行われるとともに、コスト縮減と収益の向上にも努められる等、経営健全化に向けなお一層努力されたい。

▼国民健康保険事業特別会計については、滞納世帯の割合が増加している状況にあることから、今後とも収納対策の推進に努められたい。また、国保事業の安定運営には市民の理解が不可欠であることから、今後とも国保制度の市民への周知について、より一層努力されたい。

▼介護保険事業特別会計については、地域包括支援センターにおいて、要支援者の自立支援に向けたケアマネジメントを行うとともに、介護予防事業の一環として、各種予防教室等の開催を行っているものであるが、今後とも、これら事業のきめ細かい実施に努められ市民の介護予防の推進になお一層努力されたい。

議案番号	件名
議案第19号	塩竈市職員定数条例の一部を改正する条例
議案第20号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
議案第29号	平成19年度塩竈市一般会計予算
議案第31号	平成19年度塩竈市国民健康保険事業特別会計予算
議案第38号	平成19年度塩竈市介護保険事業特別会計予算
議案第39号	平成19年度塩竈市土地区画整理事業特別会計予算

三月六日の本会議において、次の六議案について討論が行われ、採決の結果、賛成多数により、委員長報告のとおり可決されました。

討 論

● 企業会計

▼市立病院事業会計については、自治体病院として、市民の命や健康を守る使命を担っていることを踏まえ、診療時間の拡充や救急患者の受入態勢の充実強化について検討を深められるとともに、引き続きそれらに対応できる医師の確保に努められたい。また、コスト縮減や収益の向上についてもなお一層取り組まれ、経営の健全化に向け、さらなる努力を積み重ねられたい。

一般質問

本会議における各議員の一般質問の中から二つ取り上げて、その要旨を掲載しています。



公明党
吉田住男

行財政改革推進の取り組みは

議員 市長の公約である本市行財政改革の経緯と成果、今後の取り組みについて伺いたい。

次に、行財政改革では職員意識改革が重要となるが、職員が経営感覚を持ち業務に当たるとはどういうことか。また職務責任の所在の明確化を図り、市民サービスへのチェック機能を働かせるべきと考えるがどうか。

市長 新行財政推進計画を十七年四月に策定し、職員定数の適正化や百円バス運行の充実等、十七・十八年度の集中改革期間の着手率は九四%となっている。財政については、一般会計で平成十八・十九年度には七十億円台の収支均衡した予算編成となり、一定目標を達成している。今後は全会計の連結決算を念頭

市政に対する一般質問

に経営健全化に取り組みたい。次に、職員には資源を効率的に投資することで市民サービスの向上を図るといふ経営感覚が求められる。責任の所在については、各担当課長が一年間の市政運営の目標を定め、年度末に達成状況をチェックしている。

市立病院の経営改善の取り組みは

議員 市立病院は、これまで経営健全化計画や再生緊急プランなど経営改善に取り組んできた。しかし診療報酬のマイナスイメージや医師不足などで計画目標の達成には至っておらず、その基盤が脆弱であることを示している。市立病院の療養型病床が地域医療に大きく貢献していることは十分理解しているが、収益増に向けた方針転換もやむを得ない状況ではないかと考える。

また病院の経営改善を進めていく上で、医師の確保もさることながら、患者との信頼関係を構築していくことが一番大切と考えるが、見解を伺いたい。

市長 市立病院の療養型病床は、現在、三十八床となっているが、これらを活用した病院の経営健全化策については、今後、その活用のあり方についてなお一層勉強してまいりたい。



塩竈市立病院

また、患者との信頼関係の構築等については、職員一人一人が本場に市民の奉仕者だという気持ちで改めて確認し、なお一層努力を重ねてまいりたい。



ニユー市民クラブ
田中徳寿

水産業、水産加工業の再生は

議員 水産都市としての水産業、水産加工業の長期ビジョンについて市長の見解を伺いたい。

市長 知事との意見交換会の際、次のような提言をした。

日本全体で見た場合、東北地域はいまだ下位から二位という状況にある。東北六県においても、本県は中位から下位に位置している。東北の景気回復が遅れている最大の理由は、第一次産業を重要視してこなかったことが大きい。かつて東北を支えてきた第一次産業が今、壊滅的



塩竈市魚市場

な状況に置かれている。今後、東北の経済の活性化、宮城県の景気を取り戻すためには、第一次産業を再度見直すべきであると提言した。特に本市においては、水産業が基幹産業の重要な柱である。水産業に従事されている方々が元気を取り戻すことこそが、この地域に本当の意味で景気の回復を感じてもらおうことになると知事に提言した。今後とも業界関係者のみならず、行政もともに再生に向け一生懸命頑張ってもらいたい。

財政再建は

議員 財政再建に関し次の点について見解を伺いたい。①どのような仕組みで市の財政を再建するのか、財政ビジョンを示してほしい。②今後十年間で三百人程が退職するが、どのような方法で職・技を伝承するのか。③どの分野を民間に移行させ、

二市三町の合併推進は



ニユー市民クラブ
伊藤栄一

議員 二市三町は、他の地域と異なり地理的に恵まれ三十分あれば車で一周できる。合併が推進されれば、分散している業務も簡単に総括でき、行政コストも約三割の削減が可能となるのではないかと。さらに国より交付税の増額等もあり五十億円を上

学校給食はどう考えているのか。

市長 ①「新行財政改革推進計画」では、平成二十年度までの中期財政ビジョンを立て、現在本市が確保できる歳入見通しを、約百七十億円と設定し、事業の「選択と集中」を進めながら、歳出予算一割カットを達成した。今後五カ年間においても、この予算規模が、本市の財政力であると認識し、新たなまちづくりにつなげていく。②知識、技術等のスキルを維持した職員定数の適正化に取り組む。③民間にシフトすることで効果的な行政サービスを提供していく方針で検討している。給食業務については、臨時職員の活用や給食提供等の課題を整理し検討する。

回る財源が確保されることは目に見えている。できるだけ早く合併協議会を立ち上げるべきと思うが、市長の見解を伺いたい。

市長 市町村合併については、経費削減による行財政基盤の強化やまちづくりの充実、何よりも市民サービスの向上等、多くのメリットがある。より効率的で質の高い行政サービスの提供を目指す上では大変重要な課題である。今後合併の議論を深めていく上では、首長同士の理解を深めることも大切だが、地域住民の合意を得ることが重要である。広域行政連絡協議会等で議論された内容等については、議会並びに市民の方々にも報告を行いながら、合併に向けた議論を深めてまいりたい。

市道藤倉梅の宮線の道路改修は

議員 都市計画道路新浜町杉の下線として位置づけられている市道藤倉梅の宮線は、四十五年前、路肩は木柵の水路があり満潮時には海水が上がるなど水害要素の一つとして話題になっていた。現在はインフラ整備が進んでいるが、まだ地域の中心が一部整備されていない。同路線は、生活関連道路として交通量が多いことから、災害時の避難道路としての整備について市長



市道藤倉梅の宮線

の見解を伺いたい。

市長 新浜町杉の下線は、住区内幹線道路として地域の方々からも早い時期から整備促進が望まれていた。

本市としては、今日まで八幡築港線、北浜沢乙線、下馬春日線等の幹線道路、あるいは環状線道路の整備を優先してきた。また今後には越の浦春日線の整備促進や北浜沢乙線の二期工事等も喫緊の課題として抱えている。このような道路整備の検討の時期に合わせて、残された区域の整備の基本方針等を策定していきたいと考えている。



ニユー市民クラブ
鈴木昭一

障害者対策は

議員 視覚障害者の方が公共施設や道路・信号等を自分一人で

利用できるよう、音声標識ガイドシステムの導入を図ってほしいとの声が以前から上がっているが、その考えはあるのか。現時点で実現が難しいようであれば、将来的に導入を考えているのか。また、現在の障害者対策で十分と考えているのか。

市長 本市において音声標識ガイドシステムはまだ整備されていない。これにかわるものとして、十六名のガイドヘルパーがおり、視覚障害者の日常生活、あるいは買い物、コンサート等趣味の会などに外出する際の支援を行っている。当面はこういった対策を一層進めてまいりたい。

将来的には、「だれもが住みよい福祉のまちづくり条例」のようなものの制定も視野に入れ、障害者をお持ちの方も一緒にこの地域で暮らすことのできる、バリアフリー、ノーマライゼーションに満ちあふれたまちづくりに取り組んでまいりたい。

学校のアスベスト対策は

議員 学校のアスベストは既に全部除去したと聞いているが、関係者からは床の下に残っているとの情報もある。現在はそのような状態なのか。特に人体への影響がないことではあるが、その床面がはがれたままに

なっている状況はないのか、その場合財政的な理由で補修ができないのか。

市長 文部科学省の通達等によると、床材として市内学校で使用しているPタイルからは通常の状態です室内に繊維が飛散する可能性は極めて低いとされているが、端が欠けたり、撤去する場合には十分留意が必要である。

本市においても、傷んだPタイルを交換する際には、産業廃棄物として適正な処分を行うよう注意しており、学校の児童生徒の健康保持のため、十分配慮を重ねてまいりたい。

教育部長 市内の小中学校のほとんどでPタイルを使用しているが、破損の状況を見極めながら順次改修してまいりたい。平成十九年度は月見ヶ丘小学校の床面改良工事を予定している。



塩竈市立月見ヶ丘小学校



ニユー市民クラブ
香取嗣雄

塩竈市小規模工事等契約希望者登録制度の現況は

議員 塩竈市小規模工事等契約希望者登録制度に登録している小規模事業所数は全体で、あるいは業種別で何件となっているか。また、本制度に係る発注実績と今後の見通しはどのようなか。

市長 本制度の登録事業所数は延べ三十三社であり、業種別内訳は土木二社、建築十三社、電気四社、内装十社、塗装二社、管工事一社、鉄骨一社となっている。なお、実数は二十四社である。これまでの登録事業所への発注件数は、電気、建築、管工事など二十件となっている。

本制度は、小規模事業所への受注機会の拡大を図るための新たな取り組みとして平成十八年度から発足させた。初年度ということもあって受注者・発注者双方に制度が定着していない面があるため、まだ件数が不足しているものと反省している。今後は、これまでの活用実績を広く周知することにより制度の定着に努め、小規模事業所へのより一層の発注拡大に努めたい。

市政に対する一般質問

高潮対策と道路整備は

議員 県道仙台塩釜線（都市計画道路八幡築港線）では高潮による道路冠水が発生し、周辺宅地等で床下浸水などの被害が相当数あり、周辺住民は日々不安に悩まされながら生活している。

現在行われている道路拡幅工事は、多賀城市・七ヶ浜町境の貞山橋交差点から貞山大橋交差点付近にかけては平成二十一年の完成を予定しており、中の島地区までの整備はその後ということになる。沿線住民の不安解消のため高潮対策と道路整備の進捗等、本市の対応を伺いたい。
市長 昨年十一月に地元町内会の皆様が道路管理者である宮城県仙台東土木事務所に対し、沿線の冠水対策及び高潮対策について要望を行っているところであるが、本市においても、県に対し都市計画道路八幡築港線整



都市計画道路八幡築港線

市政に対する一般質問

備事業にあわせた高潮対策未整備区間約五百メートルの早期整備を要望している。今後とも沿線町内会の皆様と連携を図りながら、防災対策の充実と生活の安全確保に向けて、県に対し要望活動等を行ってまいりたい。



日本共産党塩釜市議員
曾我 ミヨ

乳幼児医療費助成は

議員 塩竈市の特殊出生率は十二・四と県内でも最低である。乳幼児医療費助成制度の対象年齢拡充を求める声が強まっている中で、仙台市では新たに、所得制限の撤廃と入院だけでなく通院も小学校入学前までと対象年齢を引き上げるとしている。

少子化が進んでいる本市も、乳幼児医療費助成制度の所得制限撤廃と対象年齢を拡充する取り組みを行うべきだと考えるが市長の見解を伺いたい。
市長 同制度については、各市町村で助成内容に違いが発生している。少子化対策は、本市のみならず全国の自治体共通の課題である。このような観点から、これまで塩釜地区広域行政連絡協議会、宮城県市長会を通じて、国に対しては同制度の創設、

県に対しては外来についても対象年齢を修学前まで拡大するよう要望してきた。
今後とも子育て家庭の経済負担を軽減するため塩釜地区、県内各市と連携を取りながら要望の実施に向け取り組んでいきたい。

漁業経営の支援は

議員 今回、桂島の漁業経営基盤整備（カキ処理施設の整備費）に対する予算として九千三百万円が計上されている。
当局は「全事業費の一億八千六百万円に対して国が五十%、地元漁協が三十%、県と市が十%」と説明しているが本来ならば、県が十%の千八百六十万円、市も同額の補助を行うべきではないか。市長の見解を伺いたい。

市長 県は十九年度からの新規事業について、水産業づくり交付金要綱による県交付金十%を廃止するとの方針を打ち出した。



浦戸諸島

組合には、計画段階からこの状況を伝え一定程度の理解を得られたと考えていたが、国からの交付金五十%以外は、組合で負担するとの方針をたて、施設整備の準備作業に入っている。
本市としては、補助金を県と同額としてきた経緯もあり、県交付金廃止の対応に非常に苦慮してきた。今後とも組合の皆様と協議を重ねながら、着実に事業が実施されるよう支援策を模索してまいりたい。



日本共産党塩釜市議員
中川 邦彦

北浜二丁目の防災道路の整備は

議員 昨年九月定例会でも取り上げているが、一昨年、地元町内会から道路整備要望が出されている。地元からは「緊急車両の通行ができるよう、一つでも実現の方向で進めてほしい。」と今回、再度要望されている。

市長 昨年の議会で市長は「今年度、現地調査を行い、計画ルート等を検討してまいりたい。」と答弁しており、当局も必要性は認めていると考えるが、今後の取り組みについて伺いたい。
市長 当地区への車両進入道路は現在一カ所しかなく、その幅



北浜二丁目地内

場外馬券売り場の設置は

議員 市長は前議会で「請願が採択されその意思を尊重する。」と答弁している。立川市のウィングズ近辺の商店街は休日にはシャッター通りになる。「しおりトンネル」の開通で住宅地も混雑し新たな渋滞が発生するのでは。安心して住める、ふるさとに誇りを持てるまちにすべき

議員 市長は前議会で「請願が採択されその意思を尊重する。」と答弁している。立川市のウィングズ近辺の商店街は休日にはシャッター通りになる。「しおりトンネル」の開通で住宅地も混雑し新たな渋滞が発生するのでは。安心して住める、ふるさとに誇りを持てるまちにすべき

と思うが、次の点を伺いたい。
 ①進出で地域経済が活性化するか。
 ②市が管理する道路の交通問題は。
 ③日本で一番住みやすいまち実現に逆行するのでは。

市長 ①JRAから自治体への道路・公園等の整備に対する助成の外、雇用機会の創出や各種事業への地元企業の参画が考えられる。
 ②駐車場はJRAより仲卸利用者に支障のない立地計画が示され、公安委員会から意見照会がなされると考えている。
 交通混雑問題は新たにオープンする量販店の交通状況も取り入れ、塩釜署と協議を行っていく。
 ③地域経済の活性化に一定の効果があり、このような方法もまぢづくりの一手法と考えている。



日本共産党塩釜市議員
吉川 弘

市営住宅家賃の減免問題は

議員 低所得者の市営住宅家賃の減免は市の条例で「減免基準等必要な事項は市長が定める。」としている。その規定は市の施行規則で定められ、公営住宅法施行令に基づき、所得税法で算出した所得金額を収入としている。しかし、減免制度の市の運用の問題により、対象者が非常

に少ない上に、滞納者を裁判に訴えている。県と市は同じ内容で減免を行っているはずなのに、県営住宅入居者が減免され、市では減免されないのはなぜか。

市長 本市の市営住宅の家賃減免については「本市住宅条例」「施行規則」「家賃減免及び徴収猶予事務取扱要綱」により適正に事務処理を行っている。
建設部長 施行規則には減免や徴収の条件等が規定されており、それらに基づき適正に判断している。家賃の減免は市の財政的事情や入居者間、あるいは入居できなかった方々との均衡等を踏まえ、自治体の裁量権に基づき行っており、全国一律の基準で運用されているものではない。

しおナビ100円バスの運行は

議員 100円バスは利用者から大変喜ばれている。しかし、路線から外れた地域の市民からは、



しおナビ100円バス

路線延長の強い要望が寄せられており、これまで市に対して三千筆を超す要望署名も提出されている。このように高齢者・障害者を初めとした市民の足の確保に、市はどのようにこたえようとしているのか。

また本塩釜駅の南側に駅前広場がつくられるが、この広場にバスターミナルとしての面積を十分に確保し、今後、バスの発着拠点にすべきと考えるが、見解を伺いたい。
市長 100円バスの路線拡大については、バス事業者と協議を重ねているが、新たな負担を伴う新規路線の開設は、経営上困難との話をされている。今後、粘り強く交渉してまいりたい。

また、本塩釜駅の南側に新たに設ける交通広場については、バス待ちにも利用可能となる大型シェルターを設置する予定であり、バス事業者との協議によって、バスターミナル的な機能が発揮できるものと考えている。



社会民主党市議員
福島 紀勝

地球温暖化防止と汚染対策は

議員 世界の異常気象は、人間活動によるCO₂や温室効果が

スなどの増加に起因すると言われているが、これらの削減のための努力は。大気測定地点の増設の考えは。河川や運河、海洋の汚染対策として特に船舶類の修理時に発生する剥離物や塗料及び粉じんなどの処理方法の指導をどのように行っているのか。

また、バイオ・ディーゼル燃料の使用効果はどうだったのか。
市長 平成十六年度からエコオフィスプランに基づき率先して地球温暖化防止に取り組んできたが、本年から民間のモデル事業所選定も検討している。大気の測定地点は市内に十九カ所あり、機器増設は考えていないが、数値の監視を綿密に行いたい。
 造船所からの排出物は、作業終了時に適切な清掃がされていることを確認している。バイオディーゼル燃料については、塩竈市団地水産加工工業協同組合が加工等に取り組んでいるが、京都議定書によりCO₂排出量がゼロとみなされることから、より利用促進を図ってまいりたい。

教育問題といじめ防止対策は

議員 安倍内閣は教育再生を最重要課題として掲げている。教育再生会議から提言されたゆとり教育の見直しや授業時間10%増による影響、学校週五日制の

見直しで児童生徒の心理面をどうとらえ、本市としてどのように対応するのか。

また、いじめによる自殺者の連鎖的増加と低学年化が心配されるが、どのような未然防止策を講じているのか伺いたい。

教育長 新しい時代の義務教育を創造しようとする国の動きを踏まえ、本市でも生きる力を育てることを重点に子供たちの育成に努めている。ゆとり教育の見直しを受け、具体的な内容が学習指導要領として示されることから、現場教員の意見を聞きながら、子供たちの負担にならないような形で対応したい。

いじめについては、さまざまな機会をとらえ早期発見に努めており、ことし一月には新たに塩竈市いじめ・問題行動学校サポート委員会を設置し、関係諸機関との連携を図りながらこれらの課題に対応している。



塩竈市教育委員会

市政に対する一般質問

◆ 2月定例会審議結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	塩竈市道路占用料等条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	塩竈市公共物管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	塩竈市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	塩竈市老人福祉センター条例及び塩竈市市民福祉交流センター条例を廃止する条例	原案可決
議案第6号	平成18年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
議案第7号	平成18年度塩竈市交通事業特別会計補正予算	原案可決
議案第8号	平成18年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第9号	平成18年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	原案可決
議案第10号	平成18年度塩竈市下水道事業特別会計補正予算	原案可決
議案第11号	平成18年度塩竈市公共駐車場事業特別会計補正予算	原案可決
議案第12号	平成18年度塩竈市老人保健医療事業特別会計補正予算	原案可決
議案第13号	平成18年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
議案第14号	平成18年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第15号	平成18年度塩竈市土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決
議案第16号	平成18年度塩竈市立病院事業会計補正予算	原案可決
議案第17号	平成18年度塩竈市水道事業会計補正予算	原案可決
議案第18号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第19号	塩竈市職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第20号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第21号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第22号	塩竈市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第23号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第24号	塩竈市休日急患診療センター条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第25号	塩竈市建築基準条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第26号	塩竈市副市長定数条例	原案可決
議案第27号	塩竈市国民健康保険出産費資金貸付条例を廃止する条例	原案可決
議案第28号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第29号	平成19年度塩竈市一般会計予算	原案可決
議案第30号	平成19年度塩竈市交通事業特別会計予算	原案可決
議案第31号	平成19年度塩竈市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第32号	平成19年度塩竈市魚市場事業特別会計予算	原案可決
議案第33号	平成19年度塩竈市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第34号	平成19年度塩竈市公共駐車場事業特別会計予算	原案可決
議案第35号	平成19年度塩竈市老人保健医療事業特別会計予算	原案可決
議案第36号	平成19年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第37号	平成19年度塩竈市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決
議案第38号	平成19年度塩竈市介護保険事業特別会計予算	原案可決
議案第39号	平成19年度塩竈市土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案第40号	平成19年度塩竈市立病院事業会計予算	原案可決
議案第41号	平成19年度塩竈市水道事業会計予算	原案可決
議案第42号	あらたに生じた土地の確認について	原案可決
議案第43号	あらたに生じた土地の確認について	原案可決
議案第44号	字の区域を変更することについて	原案可決
議案第45号	字の区域を変更することについて	原案可決
議案第46号	市道路線の認定について	原案可決
議案第47号	宮城県市町村自治振興センター規約の変更について	原案可決
議案第48号	宮城県市町村職員退職手当組合理約の変更について	原案可決
議案第49号	塩釜地区環境組合理約の変更について	原案可決
議案第50号	塩釜地区消防事務組合理約の変更について	原案可決
議案第51号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第52号	塩竈市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例	原案可決
議員提出議案第1号	塩竈市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
議員提出議案第2号	市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議員提出議案第3号	塩竈市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決
議員提出議案第4号	市長の専決処分事項を指定することについて	原案可決

請願

今定例会で審議された請願は二件で、審査結果は次のとおりです。

- 閉会中の継続審査としたもの
- ▼患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める意見書提出についての請願
- ▼義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出に関する請願

請願・陳情の取り扱いについて

請願・陳情は、市議会と市民の皆さんを直接つなぐ大切な事柄です。市政についての要望や意見があるときは、どなたでも提出することができます。

請願には、紹介議員の署名又は記名押印がなければなりません。陳情には議員の紹介は必要ありません。

請願・陳情を提出されたい方は、その要旨と住所・氏名を記載し、押印の上、議長あてに提出してください。

提出された請願は、所管の委員会で議案と同じように慎重に審査した後、本会議に諮って、採択・不採択を決定します。また審査結果については、請願者に文書でお知らせいたします。書式は下記の様式を参考にしてください。

なお、陳情書はその写しを全議員に配布することによりります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

(☎ 3 6 4 - 1 2 1 4)

<p>(表紙)</p> <p>塩竈市議会議長あて</p> <p>〇〇〇〇に関する請願書 (陳情書)</p> <p>紹介議員署名 (又は記名押印)</p> <p>・陳情書の場合は紹介議員は必要ありません。</p>	<p>(内容)</p> <p>〇〇〇〇について</p> <p>1. 請願(陳情)の要旨</p> <p>2. 請願(陳情)の理由</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>提出者(代表)</p> <p>住所・電話番号・氏名 印</p>
---	--

● 常任委員会傍聴のお知らせ

市議会の常任委員会は、委員長の許可を得て傍聴することができます。一般傍聴者は定員が七名で、傍聴の申込みが必要になります。傍聴人は、「委員会傍聴に関する留意事項」を厳守していただくこととなります。

記

傍聴申込みの手続きについては次の通りです。

受付時間 委員会開会時刻の一時前から三十分前

受付場所 市役所委員会室(三階)

*一般傍聴申込者が定員を上回る場合は抽選となります。

なお、報道機関の方は委員会開会前に事務局に届け出てください。

詳しくは議会事務局議事調査係 ☎ 三六四—二二一四まで

編集後記

陽春の光を受け、桜花爛漫を迎える季節となりました。市議会だより百六十六号をお届けいたします。

今月は、市長及び市議会議員の統一地方選挙が行われます。私たちが議会編集委員一同、これまで市民の皆さんに親しまれる議会だよりづくりを心がけてまいりました。残された期間もわずかとりましたが、精一杯取り組んでまいります。

(議会編集委員会 委員長 嶺岸淳一)